



EQUAL PAY GOAL

U.S. SOCCER AGREES TO LANDMARK EQUAL PAY DEAL FOR WOMEN, MEN



No Longer an Afterthought

世界最強女子チームの待遇改善

米サッカー界で賞金配分の「男女格差」解消

米女子サッカーチームは長年FIFA世界ランキングで1位を保ち続けている。近年では2015年と2019年のW杯で優勝し、その存在感は圧倒的だ。だが、女子代表に配分される賞金額は、男子代表に比べてあまりに低い水準に抑えられてきた。この度、米国サッカー連盟は女子代表チームと団体協約で合意に至り、これまでの賞金の扱いについて改めることとなった。

ブライアン・トッド記者の
発音と話し方の特徴



アメリカ英語

速さ:★★★★ 発音:★★★★

語彙:★★★★ 総合:★★★★

[★聞き取りやすい↔★★★★難しい]

トッド記者の英語はスタンダードなアメリカ英語。早口でフラットな抑揚は、学習者には聞き取りがかなりハードだ。なお記者は「2015」を two thousand fifteen と発話しているが、twenty fifteen と発音しても問題ない。

🔑 キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

45

- stirring [stɜːrɪŋ] 感動的な、興奮させる
- split A with B [splɪt] AをBと分け合う、分配する
- combined [kəmbaɪnd] 合わせた、合計の
- lawsuit [lɔːsɪt] 訴訟
- settlement [setəlmənt] 和解、示談
- labor solidarity [sələdɪəreɪti] 労働者の連帯・団結
- disparity [dɪspəreɪti] 格差、不均衡
- carry [kæri] ~を支える、維持する、担う
- put...on the map [mæp] ...を有名にする、世に知らしめる
- fair pay [fɛər peɪ] 公正な報酬・賃金

ナチユミシ ヨツクシ
(46) (50) 男女チームで賞金を等分

① With its stirring win over Iran/ and its advance into the knockout stage of the World Cup/ the US men's national soccer team gets a \$13 million bonus/ as a team.// And for the first time ever/ they'll split that bonus equally with the US women's team—/ ② \$6.5 million for each squad.// That's because of a new collective-bargaining agreement/ ③ that the women's team reached with the US Soccer Federation/ back in May.//



2022年W杯で決勝トーナメント進出を決めた男子代表チーム(上)。公平な取り扱いを求めて声を上げてきた女子代表選手たち(下)

(be) no longer:
 《タイトル》もはや～ではない
stirring:
 感動的な、興奮させる
win:
 ①勝利 ②(競技大会などで)優勝する
advance:
 進出、前進
knockout stage:
 決勝トーナメント、勝ち抜き戦
the (FIFA) World Cup:
 FIFAワールドカップ
national soccer team:
 国のサッカー代表チーム
bonus:
 特別手当、賞与
for the first time ever:
 史上初めて
split A with B:
 AをBと分け合う、分配する
equally:
 等しく、平等に
squad:
 (スポーツなどの)チーム
collective-bargaining agreement:
 団体協約、労働協約
reach an agreement with:
 ～と合意に達する
the US Soccer Federation:
 米国サッカー連盟

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリスニングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

イランに感動的な勝利を収め/ ワールドカップの決勝トーナメントに進出したことで/ 米国サッカー男子代表チームは1300万ドルのボーナスを獲得します/ チーム全体で。// そして史上初めて/ そのボーナスを女子代表チームと等しく分け合うことになっています/ 各チーム650万ドルずつ。// それは新たな団体協約によるものです/ 女子代表チームが米国サッカー連盟と合意に達した(団体協約による)/ 5月に。//

理解のポイント

- 》 ①のように〈with + 名詞句〉で、理由・原因を表すことができる。
- 》 ②は前述の「半分ずつ分け合ったボーナス」の内訳の具体的説明。
- 》 ③のthatは関係代名詞。このthat節は後ろからa new collective-bargaining agreementを修飾している。

47 (51) 「ついに訴えが実現した」

For Briana Scurry, a goalkeeper who played in four Women's World Cups and made an iconic penalty-kick save to help the US win the 1999 Cup, it's a sweet moment.

“For decades, it was very difficult to always be shouting at the rain, so it seemed. But now, we have made this a reality. And it took every single player who has ever played and worn the jersey for the women's national team to get it there.” (Briana Scurry)

In fact, the \$6.5 million the US women will make from the men's-team advance is more than the women earned by winning the 2015 and 2019 Women's World Cups combined. Their 2015 win paid out \$2 million, [the amount] doubling to \$4 million in 2019.

goalkeeper:
ゴールキーパー
iconic:
非常に有名な、伝説的な
penalty-kick:
ペナルティーキックの、PKの
save:
相手の得点を防ぐこと、セーブ
sweet moment:
心地よいひととき、うれしい瞬間
for decades:
数十年間
shout at the rain:
雨に向かって叫ぶ ▶かなわないことに精力を費やす比喩。
make...a reality:
...を実現する
it takes...to do:
~するのに...が必要である
every single:
あらゆる、全ての
jersey:
ジャージー、(スポーツの)ユニフォームの上着
in fact:
実際に、実のところ
earn:
(金を)稼ぐ
combined:
合わせた、合計の
pay out:
~を支払う、報酬として(ある金額を)もたらす
amount:
全額、総額
double to:
2倍の~になる

ブリアナ・スカリーさんにとって/(彼女は)ゴールキーパーとして女子ワールドカップに4回出場し/PK戦で伝説的なセーブを見せ、1999年大会でのアメリカの優勝に貢献しました/(今回の同額賞金分配は)幸せな瞬間です。//

「何十年もの間/かなわないことを訴え続けるのはとてもつらかった/そう(いった無駄骨のように)思えました。//しかし今/私たちはこれを実現させたのです。//全員の力が必要でした/これまで女子代表チームでプレーし、そのジャージを着た(全員の)/これを成し遂げるためには」(ブリアナ・スカリー)

実のところ、男子チームの(決勝トーナメント)進出によって女子チームが得る650万ドルは、2015年と2019年の女子ワールドカップ優勝で獲得した賞金の合計よりも多いのです。//2015年大会の優勝で支払われたのは200万ドルで、2019年大会では倍の400万ドルになりました。//

>>> ④ is it seemed that we were always shouting at the rain, and that was very difficultということ。
>>> ⑤ は文の主語。the \$6.5 million (that/which) the US women...と関係代名詞を補って考えるとよい。
>>> ⑥ is more than (what) the women earnedと先行詞を含む関係代名詞what (= the amount that/which)を補って考えるとよい。
>>> ⑦ is and the amount doubled to \$4 million in 2019ということ。



男子チームの決勝トーナメント進出によって配分される650万ドルは、女子チームが2015年と2019年のW杯優勝で手にした合計額よりも多い

“FIFA has been unfair with the women.// We’ve always been an afterthought to them.”// (Briana Scurry)

For decades,/ the US women’s team had fought against the US Soccer Federation,/ demanding equal pay.//

“Every time a...a woman is not paid equally,/ everyone is not, and... and nobody’s potential is able to be reached.”// (Megan Rapinoe, winger, US women’s national soccer team, in 2019)

It took a lawsuit settlement earlier this year/ to finally get the Federation to pay the women fairly.//

“There have been so many lockouts,/ so many times skipping camp,/ so many moments of labor solidarity,/ and things really revved up after the women won the 2015 World Cup.// Every step of the way,/ it’s been a fight.”// (Lindsay Gibbs, sports reporter, *Power Plays*)



WORLD CUP 2022
 U.S. WOMEN'S TEAM TO EARN MORE FROM MEN'S WORLD
 Megan Rapinoe | U.S. Women's National Soccer Team W

米女子代表の中心的選手でグラウンド外でも積極的な発言を行っているメガン・ラピノー選手

- FIFA:**
 =Fédération internationale de football association
 国際サッカー連盟
- be unfair with:**
 ~に不公平な取り扱いをする
- afterthought:**
 後から思いついたもの、付け足し
- fight:**
 ①《fight against》～と闘う
 ②闘い、闘争
- demand:**
 ~を要求する
- equal pay:**
 同一の報酬・賃金
- every time (that):**
 ~するたびに
- reach one's potential:**
 潜在能力を十分に発揮する
- winger:**
 ウイングの選手、ウイングァー ▶左右両サイドのフォワード。
- lawsuit:**
 訴訟
- settlement:**
 和解、示談
- fairly:**
 公平に、公正に
- lockout:**
 締め出し、ロックアウト
 ▶経営者側が事業場を閉鎖して、労働者の労務提供を拒否すること。
- skip camp:**
 トレーニング・キャンプを休む、サボる
- labor solidarity:**
 労働者の連帯・団結
- rev up:**
 活気づく、活発になる
- every step of the way:**
 (目標到達までの)あらゆる段階で
- sports reporter:**
 スポーツ記者

「FIFA (国際サッカー連盟)は、ずっと女子に対して不公平です。// 彼らにとって女子は、昔からずっと付け足しなのです」// (ブリアナ・スカリー)

数十年来/ 米国女子代表チームは米国サッカー連盟と闘ってきました/ (男子と) 同一の報酬を要求して。//

「女子には平等に報酬が支払われないことになるたびに/ (男女問わず) 全員が平等にももらえないことになるし、誰も能力をちゃんと発揮できません」// (メガン・ラピノー 米国サッカー女子代表チームのウイングァー、2019年)

今年実現した訴訟の和解をもってして/ ようやく米国サッカー連盟に女子に対して正当に支払わせるに至りました。//

「これまで数多くのロックアウトがあり/ 何度もキャンプのボイコットを行い/ 選手たちは何度も労働者としての団結を示しました/ そして本当に活気づいたのは、米国女子チームが2015年のワールドカップで優勝してからでした。// ここに至るまでのあらゆる段階で/ ずっと闘いだったのです」// (リンジー・ギブス 「パワープレイズ」のスポーツ記者)

》⑧ は分詞構文で、foughtの具体的説明。

49 (53) 男女格差是正に後れを取る世界のサッカー界

And every step of the way,/ there's been a different kind of disparity on the field.// In all of US soccer history,/ the women's team has won four World Cups.// The men have won exactly none.//

“I mean, women carry soccer in the United States.// I love the men's team,/ but it's the women/ who have put the sport on the map,/ who are the pride of the nation.”// (Lindsay Gibbs)

But while US Soccer has made progress on fair pay,/ world soccer remains far behind.// This year,/ the total prize money for the men's World Cup is \$440 million,/ more than 14 times as much as the prize money for the last Women's World Cup.//

Brian Todd, CNN, Washington.//

(December 4, 2022)



米国サッカー界を引っ張ってきたのは女子チームだと語るスポーツ記者のリンジー・ギブス氏

- disparity:**
格差、不均衡
- on the field:**
競技場で、フィールドで
- exactly:**
正確に言うと、まさに
▶ここでは「一度もない」ということを強調するための皮肉った言い方。
- I mean:**
何しろ、だって
- carry:**
~を支える、維持する、担う
- put...on the map:**
...を有名にする、世に知らしめる
- the pride of the nation:**
国の誇り
- make progress on:**
~において進歩する、向上する
- fair pay:**
公正な報酬・賃金
- remain far behind:**
大きく遅れたままである
- prize money:**
賞金
- A times as much as B:**
BのA倍
- last:**
この前の、直近の

そしてここに至るまでのあらゆる段階で/ フィールド上では別の種類の格差がありました。// 米国サッカーの歴史上/ 女子チームはワールドカップで4回の優勝を果たしています。// 男子はまだ一度も優勝していません。//

「そもそも、アメリカでは女子がサッカーを支えているわけです。// 私は男子代表チームが大好きです/ でも女子チームですよ/ サッカーを広く知らしめ/ 国の誇りとなっているのは」// (リンジー・ギブス)

しかし、米国サッカー連盟は公正な報酬の面で進歩したものの/ 世界のサッカー界は大きく後れを取っています。// 今年/ 男子ワールドカップの賞金総額は4億4千万ドルで/ 前に行われた女子ワールドカップの賞金の14倍以上です。//

CNNのブライアン・トッドがワシントンからお伝えしました。//

(訳 大野万紀)

>>> ⑨ は強調構文。it'sと関係代名詞 whoを省いてthe women have put the sport on the map and are the pride of the nationとしても文は成り立つ。
>>> ⑩ は\$440 millionと同格の関係にあり、これを補足的に説明している。

ニュース1を深掘り 🔍

世界に先駆けた米サッカー界の動き

サッカー界では女子選手の報酬が男子に比べて低く、各国で抗議の声が高まっている。2022年、アメリカは世界に先駆けて、男女の代表チームに同額の賃金と賞金を支給する画期的な労働協約を締結。2022年のワールドカップから、代表チームが得た賞金は2等分して男女に分配される。



FIFAは長年にわたり女子選手に対して不公平だったと語る元米代表プレイヤー・スカリー氏

およそ30年に及ぶ権利をめぐる闘い

米国サッカー女子代表チームが男女同額賃金を求める闘いを開始したのは、1991年の女子ワールドカップ優勝時からだ。2016年には女子代表選手5人が雇用機会均等委員会に苦情を申し立てた。2019年には選手28人による集団訴訟に発展。制度的な性差別があると主張し、損害賠償や男女格差是正を求めた。

2022年2月、米国サッカー連盟は和解に合意。女子代表選手に2400万ドルの和解金を支払い、男女同額の報酬および遠征時の移動手手段・宿泊施設・練習環境などの同一化を保障する新たな労働協約を定めた。これを「悪平等」と非難する声もあるが、米国男子代表の選手会は女子選手の抗議活動に理解を示し、支援したという。



女子代表選手をきちんと評価すべきだというサポーターの声も



2011年女子W杯決勝で米国は日本代表と対戦し、PK戦の末に敗れた